

次世代医療研究センター 研究セミナー

グレリンを例とした最新のペプチド・ホルモンの 探索、機能解析、今後の展望

児島 将康 教授
久留米大学 分子生命科学研究所 所長

2017年6月27日(火) 16:30～17:30
医学部臨床講堂2

これまで日本人研究者によって、ナトリウム利尿ペプチドやエンドセリンなど、数多くのペプチド・ホルモンが発見されてきました。そして現代は、これまで不明だったペプチド・ホルモンの機能が、最新の研究手法の展開によって明らかになる時代になりました。本セミナーでは、Hormone Hunterとして名高い児島先生らが発見したグレリンを例として、ペプチド・ホルモンの探索方法、グレリンの発見から機能解析、そしてペプチド・ホルモン研究のこれからについてお話しいたします。

References: Sano H, *PLoS Genet* 2015; Sato S, *Nat Med* 2007; Hanada R, *Nat Med* 2004; Nakazato M, *Nature* 2001; Kojima M, *Nature* 1999; Tanabe T, *Nature* 1987

【問合せ】 次世代医療研究センター 沢村達也(内線:5170)